

14年3月期決算

東陽倉庫、国内外の事業堅調、営業利益54%増

Edited By LogisticsToday On 2014/05/08

東陽倉庫が8日発表した前3月期決算は、国内、国際物流事業がともに堅調に推移し、9.1%の増収を確保、営業利益は54.1%増となった。

国内物流事業では、医薬品や食料工業品の分野での新規荷主の獲得、提案型営業によるデプロイ業務の獲得など営業強化に努め、流通加工業務の増加、増設した物流施設が通期にわたって業績に寄与、取扱いが大幅に増加し、回転率も高水準を維持した。

倉庫貨物取扱高は180万4000トン（前年同期比10.5%増）、保管貨物期中平均月末残高は8万5000トン（3.8%減）、陸上運送取扱高は85万6000トン（3.7%増）となった。

国際物流事業は、13年7月に釜山新港（韓国）の合弁会社へ出資、東陽倉庫シンガポール社のヤンゴン支店（ミャンマー）開設など、アジアを中心に物流ネットワークの強化を図った。

農産物の分野で新規荷主を獲得したほか、航空貨物を中心に国際複合輸送の取扱いが増加した。中古車輸出の取扱いは堅調に推移したものの、製造業の海外生産シフトによる影響も大きく、ほかの輸出貨物の取扱いは低調に推移。

港湾貨物総取扱高は172万6000トン（4.3%増）、保管貨物期中平均月末残高は8万8000トン（1.8%減）、陸上運送取扱高は120万7000トン（4.4%増）となった。

今期は、3PL物流とグローバル化、不動産事業の強化を経営方針の柱として取り組み、中部、関東地区で物流施設の増設や拠点の拡充を進める。韓国・釜山新港（韓国）の物流拠点は5月に稼働を開始、タイ物流拠点は8月に稼働する計画で、平行して「チャイナプラスワン、タイプラスワンといった国々の市場調査を進める」としている。

これらの取り組みにより、売上高215億円、営業利益6億4000万円、最終利益4億5000万円を見込む。

[東陽倉庫] 2014年3月期連結決算（単位：百万円）

	2014年3月期	2013年3月期	増減
売上高	22,421	20,555	9.1%
営業利益	731	474	54.1%
経常利益	793	522	51.8%
当期純利益	602	46	45.9%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/104345>
Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.